

FD・IR 企画部会 2022 年度総括（自己点検・評価）

FD・IR 企画部会委員長 小林 正樹
大学企画室長 小山内幸広
教務学生課長 目黒 裕二

1. 2022 年度目標の達成状況・主要計画の実施状況

（1）FD（Faculty Development）関係

事実の説明	・学修成果可視化システム内のティーチングポートフォリオ入力項目の検討を行った上で、同システムを活用した教員の自己点検評価実施要領案を作成し、内部質保証推進委員会の承認を得て、「目指すべき教員像」に基づく自己点検を実施した。 ・優秀教員の授業動画（自動録画システム利用）を使用したオンデマンド型授業参観（全教員参観）および学生 FD 懇談会を開催し、定着化させた。
自己評価	・目標①「教員自身による教育活動の自己点検評価(授業総括)実施案の作成」を達成した。 ・目標②「教育の質向上に資するオンライン（ICT 活用）教育のあり方を検討し、授業改善に活かす」は、今年度の推進施策等（事実の説明に記載）を通じて、ICT を活用した授業改善の取り組みを前進させた。今後も引き続き議論をしていく。

（2）IR（Institutional Research）関係

事実の説明	・他大学の KPI 事例を参考としながら、本学の中期計画、事業計画、教育方針、各部署の目標および養成する人材像等を踏まえた KPI 案を作成し、内部質保証推進委員会の承認を得て、試行運用版として策定した。
自己評価	・目標「自己点検評価 KPI 案の作成」を達成した。

（3）内部質保証関係

事実の説明	・前年度の DS 等検討 WG での議論を踏まえて、学位プログラムレベルの学修成果の可視化の本質化に向けた新方針案を検討し、アセスメントポリシー改定案として取り纏め、内部質保証推進委員会の承認を得て学内に周知した。 ・学修成果の可視化の本質化に向けた FSD 研修会（第 4 回：山形大学事例・第 7 回：教育課程レベルのアセスメント）を実施し、学内の共通認識形成を図った。
自己評価	・目標「学修成果の可視化の本質化に向けた基本方針案の作成」を達成した。

2. 課題および改善・向上の方策（「2022 年度計画を踏まえての学長指示事項」への対応状況は、この欄に記載して下さい）

	課題と改善向上の方策
（1）FD 関係	・授業評価アンケート：実施時期・方法・内容（学生自身の振り返り等）の検討 ・ティーチングポートフォリオ：運用上の課題の洗い出し・修正案の検討
（2）IR 関係	・自己点検評価 KPI 関係：妥当性の検証・関連部局との意見交換・調整 ・アンケート調査関係：調査の集約・学内のデータ共有・回答者の負担軽減策の検討
（3）内部質保証	・MR 到達度のアセスメントの具体案（確認テストおよびルーブリック評価）の検討

3. 特記事項

（1）計画外の特筆すべき取組等

① 東北芸工大・京都芸術大との 3 大学合同 IR 研修会を実施し、情報交換を行った。(2022. 9. 6/zoom)

（2）外部評価または指摘等

① 教育学術新聞記事掲載（2022. 12. 7 付／第 2907 号）

→本学の学士力養成と内部質保証の取組が、教育改革事例として取材掲載された。

② 溝上研・リアセック総研／第 5 回教学マネジメント実践事例セミナー発表（2023. 3. 3/zoom）

→本学のキャリア教育と「共通学士力」可視化・育成の取組が、実践事例として取り上げられた。